

# ALCARE

つながりあって、ひらくケア。

## セルケア®2 Cellcare 2

ツープースオストミーシステム  
2-Piece Ostomy System

### 取扱説明書

- ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みの方、商品の特性を十分理解してからご使用ください。
- 常に、この取扱説明書はお手元に置き、必要に応じてお読みください。

お客様相談室 ☎0120-770-175  
(土・日・祝日を除く 午前9:00～午後5:30)  
www.alcare.jp

はじめに  
(セルケア2)は、排泄物を溜めるストーマ袋と、皮膚に固定する粘着部分が独立した二品系(ツープース)器具です。面版はあらかじめカットされたプレカットタイプを標準とし、ストーマ袋は生活のシーンに合わせて選択ができます。安全にお使いいただくため、用途以外の使用はせず、この取扱説明書に従ってご使用ください。なお、商品についてご不明な点は、お客様相談室までお問い合わせください。

使用上のご注意  
ご使用前には、医師または看護師の指導を受けたく、注意事項を熟読し、本品の特性を十分理解してください。誤った取り扱いを行うと排泄物のモレが発生し、モレによる皮膚炎の原因ともなります。万一、肌に合わない時は使用を中止してください。

**注意**  
●ストーマ周囲には軟膏など、粘着力の低下の原因となるものは塗らないでください。粘着力低下によるモレの原因となります。(被膜剤もその特性上、粘着力に影響を与える場合があります。お使いの場合は、被膜剤の取扱説明書をよくご確認ください。)  
●剥離フィルムを剥がした面版の表面には、指などが触れないようご注意ください。粘着力低下によるモレの原因となります。  
●一度剥がした面版をもう一度貼るのはお止めください。粘着力低下によるモレの原因となります。

### 使用手順 (面版の貼り方)

●フリーカットの場合 ※イラストはFです。

**1 ストーマの大きさを測ります**  
ストーマの大きさを測り、カッティングゲージにストーマと同じ大きさの穴を開けます。穴はゲージの中央に開けるようご注意ください。このカッティングゲージは型紙としてついております。

**2 面版に穴を開けます**  
穴を開けたカッティングゲージを裏返し、面版の剥離フィルム側に重ね合わせ、面版に穴の大きさを書き写します。その線よりも1~2mm程度大きく面版を切り取ります。

**3 穴の大きさを確認します**  
剥離フィルムを剥がす前に面版をストーマにあてて、穴の大きさが適切かどうかを確認します。

●ストーマの大きさは変動することがあります。1ヶ月に1回は大きさを測り、常に正しいストーマサイズを知っておきましょう。

**このような場合には**

- ストーマ周囲にシワや凹凸がある場合  
別売りの各種皮膚保護剤で、皮膚表面を整えから面版を貼ってください。または、凸面タイプの手紙を貼って使ってください。
- 平組または陥没タイプのストーマの場合  
面版の穴をストーマより2~3mm大きめに開け、別売りの各種皮膚保護剤で、すき間を埋めてください。または、凸面タイプの面版をご使用ください。

**このようにするには**  
●上記の各皮膚保護剤で、皮膚表面を整えから面版を貼ってください。または、凸面タイプの面版をご使用ください。

**このようにするには**  
●上記の各皮膚保護剤で、皮膚表面を整えから面版を貼ってください。または、凸面タイプの面版をご使用ください。

### 通気回復フィルターについてのご注意

●Tdf/Df/Cf/D キャップをお使いの場合 ※イラストはCfです。

フィルターは、ストーマ袋内に溜まったガスが徐々に抜けるようになっています。

※なお、フィルターは、ストーマ袋内の排泄物がフィルターを通して外に出ることがない構造になっていますので、安心してご使用になれます。

**重要**  
以下のような場合は、パッケージ内のフィルターカバーシールを貼って、通気孔をふさいでください。

● ガスが抜けずすぎると、真空状態のようになり、ストーマから排出された便が袋の中に落ちず、ストーマ周囲に付着してしまうことがあります。このような場合は、パッケージ内のフィルターカバーシールを貼って、通気孔をふさいで、ストーマ袋内にガスが溜まるようにしてください。ストーマ袋内にガスが溜まったシールを剥がし、手で軽くストーマ袋を押してガスを出してください。

● 入浴の時  
入浴時に外側から水がフィルターに触れると活性炭が水を吸収してしまい、入浴後に活性炭を含んだ水が染み出すことで衣類を汚してしまう原因となります。

● ストーマ袋を装着して入浴した場合には、入浴後、乾いたタオルなどでストーマ袋に付いた水分を拭き取るようにしてください。

**このような場合には**

●ご使用中に「ガスがスムーズに抜けにくい」と感じたら  
-フィルターに排泄物の付着が見られる場合は、こするようにして拭き、取り除いてください。  
-フィルターを裏側と裏側から指でつまんで、2~3回圧縮してください。

セルケア2の種類と各部の名称

- ご使用中のストーマ袋の中を水などで洗浄することはお止めください。袋の破損によるモレの原因となります。
- 器具を装着状態ですりこまないでください。ストーマ袋の穴あきによるモレの原因となります。
- 面版の粘着部分が冷たくなっている、貼り付きが強い場合がありますので、暖かい部屋に移し、全体が温まってからご使用ください。
- フリーカットの場合、面版に開ける穴は、定められた有効径を越えて切らないでください。面版からのモレの原因となります。
- 排泄物はストーマ袋に溜めすぎないようにし、適宜お捨てください。溜めすぎると重みによる剥がれの原因となります。
- 器具の使用日数が長くなると、粘着力低下によるモレの原因となりますので、ご注意ください。器具の交換日数は、汚染や排泄物などにより異なりますが、2~5日交換が目安です。
- 万一、肌に合わない時は使用を中止し、医師または看護師にご相談ください。

**保管上のご注意**  
粘着力不足など品質劣化の原因となりますので、保管の際は次のことを避けてください。  
●高温(40℃以上)、多湿の場所での保管  
●温度の低い場所(冷蔵庫など)での保管  
●直射日光がある場所での保管  
●圧迫がかかる場所での保管  
●長期保管  
●箱に記載されている使用期限を必ずご確認ください。  
●面版の剥離フィルムを剥がした状態での保管

**廃棄上のご注意**  
使用済みのストーマ器具は、排泄物をトイレに流した後、新聞紙などに包み、ゴミ袋に入れてお捨てください。器具は通常「燃えないゴミ」の扱いですが、地域により異なる場合もありますので、詳しくは各自自治体にご確認ください。

### 使用手順 (ストーマ袋の装着方法)

- 1 ストーマ袋の位置を合わせます**  
ストーマ袋を持ち、面版とおおよその位置を重ね合わせ、上下左右にずれないことを確認します。
- 2 ストーマ袋をはめ合わせます**  
リングの位置合わせができた後、親指と他の指ではさむようにして、指を移動させながらはめ合わせます。
- 3 ストーマ袋の外し方**  
ストーマ袋の取り外し用タブをストーマ袋と一緒に持ち、もう一方の手で面版側の取り外し用タブを押さえるながら、ゆっくりストーマ袋をめくるように外してください。
- 4 剥離フィルムを剥がします**  
剥離フィルムに印字されている矢印に合わせて、面版の方向を確認してください。(使用手順 準備の②参照)
- 5 面版を貼り、よく押さえます**  
面版を貼付する時は、皮膚を伸ばしすぎないようにし、十分に密着させます。
- 6 面版を貼付する時は、皮膚を伸ばしすぎないようにし、十分に密着させます。**  
●軟膏などは粘着力低下の原因となりますので、併用しないで行ってください。

【ウロストミーの方の場合】  
器具交換時も尿が滲み出しているので、ロールガーゼ(ガーゼを丸めてテープで止めたもの)で尿を吸い取りながらタイミングを見て貼るようにしましょう。

### 使用手順 (排出口の開閉方法) <Uの場合>

●排出口の開け方/閉じ方

- 1 キャップを外します**  
二重ロックされている上から見て左回り方向に回転させ、クリナリーパウチから接続チューブを一番奥のキャップを外します。
- 2 尿を排出します**  
操作つまみを180°(上から見て右回り方向)回転させます。この時、尿の排出が行われます。
- 3 キャップを付けます**  
操作つまみを180°(上から見て右回り方向)回転させ、クリナリーパウチから接続チューブを一番奥のキャップを外します。

●接続チューブの付け方 (夜間など他の医療バッグが必要な時にお使いください)

- 1 コネクターを差し込みます**  
付属の接続チューブに、ご使用中に蓄尿したコネクターを差し込みます。
- 2 接続チューブを回転させます**  
次に、キャップのみを外したクリナリーパウチに、接続チューブを「カチッ」と音がするまで強く差し込みます。この際、接続チューブのツメ部分が口具側のカギがしっかりと掛かっていることを確認します。
- 3 操作つまみを回転させます**  
最後に操作つまみを180°(上から見て右回り方向)回転させると、接続チューブ、蓄尿バッグへ導尿されます。

●接続チューブを使用時は、チューブの破れや折れにご注意ください。

●面ファスナーのループ面・フック面に潤滑油や水が付着した状態で使用すると、接着力が弱まり、衣類を汚すおそれがあります。水分や油分を十分に拭き取ってからご使用ください。

**TDf** コロ/イレストミー用  
**Df** コロ/イレストミー用  
**Cf** コロストミー用

**FC** 凸面タイプ  
交換目安:2~5日  
取り外し用タブ  
剥離フィルムタブ  
凸面タイプ  
ストーマ周囲にシワや凹凸がある方、平坦または陥没タイプのストーマの方です。

**U** ウロストミー用  
**BC** 入浴用キャップ

**TDf**をお使いのお客様へ  
●面ファスナーのループ面・フック面に潤滑油や水が付着した状態で使用すると、接着力が弱まり、衣類を汚すおそれがあります。水分や油分を十分に拭き取ってからご使用ください。

### 使用手順 (排出口の開閉方法) <DIの場合>

- 1 クリップを開きます**  
図のようにストッパーを押しながら引き上げ、クリップを開きます。
- 2 ストーマ袋を巻きつけます**  
引き上げたアーム部分にストーマ袋のクリップラインを合わせて一旦はみつけます。\*クリップのカーブが体に合うように向けてください。
- 3 クリップを閉じます**  
ストッパーを押しながらクリップを閉じます。\*最後にクリップがきちんと閉じているか確認してください。

**DIの排出口の開け方/排出方法**

- 1 クリップを外します**  
しっかりとストーマ袋を押さえ、クリップのストッパーを押しながら引き上げてクリップを外します。
- 2 尿を排出します**  
ストーマ袋の先端に便が付着し、臭いモシの原因にならないように、排出口を外側に折り返します。排出口を下に向けて、ストーマ袋内の便を排出します。
- 3 ストーマ袋の先端をクリップで止めます**  
便の排出が済んだら、排出口部分をストッパーバーなどで拭き、折り返しを戻し、またクリップで止めます。

### 接続チューブの使用上のご注意

接続チューブ(ツメ部分)は、排出口(カサ部分)の上で確実に差し込んでください。

●接続チューブの接続状態について  
\*差し込みが確実でない場合、接続チューブが外れる原因となります。

- 接続チューブのツメ部分が排出口のカサ部分の上で差し込まれている
- ✕ 排出口の上まで差し込んでいない
- ツメ部分がカサ部分にしっかり嵌っている
- ✕ キャップリングが挟んでいる

●「操作つまみ」の適切な状態の確認方法  
\*回転が不十分な場合や可動域を超えて回転させた場合、排出口の内外れや「壊れる」原因となります。

- 完全に閉じた状態  
操作つまみとストーマ袋の間に、すき間がありません。
- 完全に開いた状態  
操作つまみとストーマ袋の間に、約6mmのすき間があります。

**U** ウロストミー用  
**BC** 入浴用キャップ

接続チューブの取り扱いについて詳しくは、「使用手順(排出口の開閉方法)<Uの場合>」[接続チューブの使用上のご注意]をご確認ください。

### 使用手順 (排出口の開閉方法) <DIの場合>

- 1 末端を折りします**  
末端のプレートを手前4回折り上げます。\*折り上げにゆるみや原因があると、便や臭いモシの原因となります。
- 2 面ファスナーのフック面が表になります**  
折り上げラインに沿って、折り上げると面ファスナーのフック面が表に出きます。
- 3 フック面にループ面を重ねます**  
フック面にフックのループ面を重ねてからしっかりと押しつけて面ファスナーを止めます。

**DIの排出口の開け方/排出方法**

- 1 フラップ部分を割ります**  
片手でプレート部を持ちながら、フラップを左右いずれかの端から注意深く持ち上げて割ります。
- 2 折り上げた部分を開きます**  
排出口を上に向けながら、折り上げた部分を順番に開きます。最後まで開き、末端のプレートから逆折り返ししながら、排出口を開いた状態で保持され、排出がスムーズに行われます。
- 3 尿を排出します**  
ゆっくりと排出口をトイレに向け、尿を排出します。\*排出口の間に便が残っていると、便や臭いモシが発生することがありますので、排出口付近にしっかりと拭き取ってから閉めてください。

※V型にしつりと折って、クセを付けます。

**D** キャップ  
**Cf** コロストミー用

●ご使用の面版とストーマ袋、ストーマメジャーまたはカッティングゲージ●石鹸●ガーゼ●ティッシュペーパー●ゴミ袋●ぬるま湯●ハサミ●フリーカットの場合●細かい油性ペン(フリーカットの場合)

### 使用手順 (排出口の開閉方法) <DIの場合>

- 1 キャップを外します**  
排出口を上に向け、便が出てこないよう注意しながらキャップを外します。
- 2 尿を排出します**  
キャップを口具キャップ止めに止め、排出口をトイレに向け尿を排出します。
- 3 キャップを閉じます**  
排出が終わりましたら、排出口部分をトレイトペーパーなどで拭き、キャップを付けます。

**このような場合には**

- 排泄物に残りかすが多く、詰まりやすい場合  
下部開放型ストーマ袋として使用する場合は、付属のクリップをお使いください。\*クリップの使い方は「使用手順(排出口の開閉方法)<DIの場合>」をご覧ください。
- ストーマ袋内の便が流れ落ちにくい場合  
逆流防止止は繊維状の固形物が付着し、便が流れ落ちにくい場合は、逆流防止止の上あたりから下へしぼり出してください。